

BOLD MOTOR SPORTS # 5 5

2009 Super Taikyu Race Report Rd.3 500km RACE



開催日: 2009年 6月6~7日(土~日)
開催サーキット: 鈴鹿サーキット(1周 5.807km)
天候: 公式予選日: 晴れ/ドライ 決勝日: 晴れ/ドライ
参加台数: 32台 ST1×6台、ST2×9台、ST3×7台、ST4×10台
決勝出走: 32台 ST1×6台、ST2×9台、ST3×7台、ST4×10台

公式予選: 総合26位 クラス 4位
決勝結果: 総合18位 クラス 2位



- A ドライバー 谷川達也 (Tanigawa Tatsuya)
- B ドライバー 松井孝充 (Matsui Takamitsu)
- C ドライバー 河村直樹 (Kawamura Naoki)



QUALIFY 公式予選 予選 6月 7日(土)
決勝 6月 7日(日)

スーパー耐久500キロ

予選結果

Aドライバー 谷川達也 2分27.772秒

Bドライバー 松井孝充 2分28.587秒

Cドライバー 河村直樹 2分30.819秒

結果:総合26位、クラス4位



決勝結果

総合18位 クラス2位

15ポイント獲得

シリーズランキング

ST - 4クラス 1位

ランキングポイント合計 55P



チーム代表兼監督コメント:小林春基 チーム総監督

第三戦目は鈴鹿500キロ、今回は2 DAYとして開催されました。木曜日の専有走行は雨となりかなり良いセッティングを出す事が出来ましたが、あいにく予選日から晴れとなり、予選日早朝からセッティング変更を行いましたが全くセッティングが出せない状態のまま予選が始まりました。谷川選手クラス6位とかなり厳しいタイムとなりました。続いて、松井選手クラス5位、合計タイム4分56.359秒で総合26位クラス4位で決勝を迎える事となった。

予選終了後、ミーティングが始まり深夜までセッティング変更とピット作業の練習を行なった。

決勝:スタートはAドライバー谷川選手、順調に周回を重ねていた28周目セーフティーカーが導入された。

そのタイミングでBドライバー松井選手に交代、ピット作業を終え出走、2位のポジションとなる!

好調な走りを見せ一時はクラストップに上がったがやはりインテグラには敵わない。順位は2位で持続したまま60周目再び谷川選手にドライバー交代。そしてトップを抜きにかかるがタイム差もありそのまま順位を維持する作戦に変更、その後2位をキープしながらチェッカーを受ける事が出来ました。 合計周回数81周

今年スーパー耐久三戦連続の表彰台! スポンサー様方、関係者皆様、そして応援して頂いている皆様に最高のプレゼントが出来ました。そして三戦続けて表彰台に立てた事も全てチームワークと応援して頂いている皆様のおかげです。次回第四戦は富士スピードウェイ 8月1日~2日 四時間 耐久レースです。全力で戦いますので宜しくお願い致します。



ドライバーコメント:谷川達也 選手

第3戦の鈴鹿は、今季初の予選と決勝が別の日に行われる2DAYのレースとなります。前回の優勝した菅生のレースから事前のテストもしていないこともあり、木曜日から走行を始めました。マシントラブルも発生しましたがセットの確認もできこの日の走行は終了しました。

金曜日の練習走行は朝から雨が降り続きウェットコンディションでの走行となりました。マシンバランスを確認した後に、ドライバー交代をして松井選手・河村選手に経験を積んでもらうために多くの周回を重ねてもらった事にしました。

最終セッションでは、この日クラストップのタイムを出す事ができてウェットコンディションでも速さをアピールする事ができました。

土曜日の予選では、いつものようにクリアラップを確保するためにコースインをするタイミングをずらしました。

予選アタック時は、クリアラップでしたが、木曜日の走行でのマシンバランスではなく大きくタイムロスをしてしまいました。

松井選手のタイムアタック前にマシンセッティングの変更を行いました改善されず予選は4位という結果に終わりました。

河村選手の走行時もマシンバランスが改善されなかったため、走行後は長いミーティングを行うことになりました。

日曜日のフリー走行で、セッティング変更の最終確認を行いました。チームの努力もありマシンバランスも改善されており予選より速いタイムを出す事ができました。

決勝は、スタートを担当する事になりました。500kmと長い距離のレースなので序盤は様子見の展開となりました。

ドライバー交代直前にセーフティーカー導入となり、このタイミングでピットインをして作業を行いました。ピットアウト後は2位となり

松井選手の追い上げが始まりました。しかし、ストレートスピードが伸びない事もあり中々差を縮める事ができませんでした。

淡々と周回を重ね予定通りの2度目ピット作業で再び乗ることになりました。この時点でトップと差が大きく3位との差が縮まっていたので逃げる作戦で押し進めました。その後、3位を走行していたマシンがトラブルでリタイヤしたのでペースを落として2位をキープする作戦となりました。その結果、3戦連続表彰台となる2位でフィニッシュすることができ、ポイントリーダーの座も確保する事ができました。

今回のレースは、木曜日のトラブルや予選でのマシンバランスの悪化など幸先は悪かったのですが、決勝ではなくて良かったという前向きな気持ちが成績に繋がったと思います。けして、1番速いマシンではないですが、チーム・ドライバーが協力して強いマシンに仕上がったと思っています。次戦の富士でも開発を続け、よい成績を残すよう努力を続けます。

ドライバーコメント:松井孝充 選手

・フリー走行

金曜日のフリー走行ではウェットコンディションで自分にとって新たな課題が見つかるセッションとなりました。1本目の走行はとにかくマシンがどういう挙動をするのかを感じるため慎重に行きました。しかしデグナーカーブでコースオフしてしまい、チームに申し訳ない気持ちです。2本目の走行は自分の中でとにかく無事に走ろうと考え、その中で色々と状況を考えながら走りました。そして谷川さんのデータから多くのことを学びました。3本目は雨量も少なく、やっと自分の中でマシンの状況を掴むことが出来ました。コンディションも安定していたのですごくいいマシンバランスでした。

・予選

ドライコンディションを走っていなかったのがすごく不安要素でいざコースに出るまでどのくらいグリップするのかわからない状況でした。谷川さんがアタックした感じだと、すごくアンダーステアと聞いていたのでセットもチームが変えてくれて予選に挑みました。しかしフィーリングはすごくアンダーステアでとにかく自分の出来る範囲でアタックしました。予選はまだ周回が少なかったのが良かったのですが、決勝には不安が残る感じでした。

・決勝

まずはスタートから谷川さんがコンスタントにラップしていました。前方とのラップタイムが遅いにも関わらず谷川さんは安定して走っていて、またチームも作戦を考えていました。その結果引っ張る方向で行ったところ見事作戦が当たり、セーフティーカーが入って自分にバトンタッチされた時はとにかく自分のパートを確実にこなしていきました。セーフティーカー跡の時はトップも見えていただけにプッシュし続けました。しかしペースを上げられてしまいついていくことが出来ない自分が辛かったです。その後は谷川さんに変わるまでプッシュし続けました。谷川さんがチェッカーまでマシンをしっかりと運んでくれて2位という予選では想像もつかないいい順位でゴールできたことは本当に嬉しかったです。このレースもチーム力で掴んだ結果だと感じました。今回もチームに感謝です。本当にありがとうございました。

次回の富士ラウンドはもっと厳しい戦いが予想されますが、チーム一丸となっていきます！